

2 学年社会科 歴史的分野指導計画表・評価規準

第3章 中世の日本 (配当 14 時間)

1 節 武士の台頭と鎌倉幕府 (配当 6 時間)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
7月・8月	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。(主体的に学習に取り組む態度) ● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を考えようとしている。(思考・判断・表現)
	1 武士の成長 (p.66～67) 武士の登場 武士団と荘園	<ul style="list-style-type: none"> ● 武士が次第に勢力を広げたことを，都や地方でおきた戦乱の様子などから理解する。 ● 荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり，武士の成長との関連について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 武士が成長していったことを，政治の動きと関連付けて考察している。(思考・判断・表現) ● 武士の成立過程を，導入資料などから読み取っている。(知識・技能)
	2 武士の政権の成立 (p.68～69) 院政と武士 源平の争乱	<ul style="list-style-type: none"> ● 武士が政権をにぎった過程について，平清盛を通して理解する。 ● 院政の特色を，摂関政治と比較して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 平氏の政治の特色を，摂関政治との共通点に着目して考察し，その結果を適切に表現している。(思考・判断・表現) ● 源義経などの人物を中心に，源平の争いの経過について理解している。(知識・知識・技能)
	3 鎌倉幕府の成立と執権政治 (p.70～71) 鎌倉幕府の始まり 執権政治	<ul style="list-style-type: none"> ● 武家政権が東国に生まれ，支配力を広げていった様子を，幕府と朝廷の関係などから理解する。 ● 将軍や執権と御家人の関係に着目して，武家政権の特色を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 武士の生活や生き方に関心を持ち，意欲的に学習している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 文書資料から，幕府と朝廷との勢力関係，将軍と御家人との関係を読み取っている。(知識・技能)
	4 武士と民衆の生活 (p.72～73) 地頭の支配 武士の生活 民衆の動き	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉時代の武士の生活の様子を，絵巻物や文書資料などを通して理解する。 ● 農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵巻物などの資料から，武士の生活の様子を読み取っている。(知識・技能) ● 鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達とそれに伴う生活の向上について理解している。(知識・知識・技能)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
		て考える。	
	5 鎌倉時代の文化と宗教 (p.74~75) 鎌倉文化 鎌倉仏教の教え	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表的な事例を通して、鎌倉時代の文化の特色を理解する。 ● 鎌倉時代の仏教の特色を理解し、それが広まった理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉時代の建築・彫刻・文学作品に関心を持ち、意欲的に学習している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 鎌倉時代の仏教が人々の間に広まったことを、教えの特色や社会の動きと関連させて考察している。(思考・判断・表現)

2 節 東アジア世界との関わりと社会の変動 (配当 8 時間)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
8月・9月	1 モンゴルの襲来と日本 (p.76~77) モンゴル帝国の拡大 二度の襲来 鎌倉幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーラシア大陸での動き、モンゴルの襲来と日本の対応について理解する。 ● 鎌倉幕府が滅亡した理由を、モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● モンゴルの襲来が国内の政治におよぼした影響を、御家人の動きから考察している。(思考・判断・表現) ● 絵画資料から、モンゴル軍の特徴を読み取っている。(知識・技能)
	2 南北朝の動乱と室町幕府 (p.78~79) 南北朝の動乱 室町幕府の発展 守護大名と地方の動き	<ul style="list-style-type: none"> ● 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ● 室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して、その特徴を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武家社会の変化を考察している。(思考・判断・表現) ● 新たな権限を持った守護が守護大名となり、後の政治に影響をおよぼすことに気付いている。(知識・知識・技能)
	3 東アジアとの交流 (p.80~81) 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易	<ul style="list-style-type: none"> ● 東シナ海をはさんだ中国・日本・朝鮮の結びつきや、蝦夷地の動きを捉える。 ● 琉球や蝦夷地の人々の交流や結びつきについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図を活用して、日明貿易の様子、琉球の役割、蝦夷地の動きなどを読み取っている。(知識・技能) ● 琉球が中継貿易で栄え、中国・朝鮮・東南アジアを結びつけていたことを理解している。(知識・知識・技能)
	4 産業の発達と民衆の生活 (p.82~83) 農業の進歩と手工業の発展 商業の発展と都市の成長 村の自治	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ● 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを、土一揆などの様子から捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業や商業・手工業の発達が当時の社会におよぼした影響について考察している。(思考・判断・表現) ● 文献資料や碑文などから、民衆の成長の様子を読み取っている。(知識・技能)
	5 応仁の乱と戦国大名 (p.84~85) 応仁の乱 戦国大名の登場と城下町	<ul style="list-style-type: none"> ● 応仁の乱の原因や経過、その後の社会におよぼした影響について理解する。 ● 戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の風潮から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちが住む地域の戦国大名に関心を持ち、意欲的に学習している。(主体的に学習に取り組む態度) ● さまざまな資料から、下剋上の風潮が全国に広がったことを読み取っている。(知識・技能)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	6 室町文化とその広がり (p.86~87) 室町文化 武士の文化の成長 民衆への文化の広がり	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。 ● この時代に生まれた文化で、現代に受けつがれているものに関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統文化に関心を持ち、室町時代に生まれた文化で現代に受けつがれているものに気付いている。(主体的に学習に取り組む態度) ● 武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。(知識・知識・技能)
	[深めよう]東アジア世界の朝貢体制と琉球王国 (p.92~93) 朝貢ってなに？ 東アジア世界の形成 朝貢体制と室町幕府 琉球王国と朝貢体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国の朝貢体制を通して、東アジア全体での人やものの交流が生まれたことを理解する。 ● 朝貢体制の中で、発展した琉球王国の成立と繁栄の様子について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国の朝貢体制によって、「東アジア世界」という大きな世界がつけられたことを理解している。(知識・知識・技能) ● 琉球王国の繁栄が貿易立国にあったことに気付いている。(思考・判断・表現)
	[深めよう]室町時代の生活文化と現代 (p.94) 衣 食 住	<ul style="list-style-type: none"> ● 室町時代の文化と現代とのつながりについて、衣食住に着目して考える。 ● 絵画資料から、室町時代の生活文化の特色について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 室町時代の生活文化に関心を持ち、意欲的に学習している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 室町時代に生まれた事象で、現代に受けつがれているものに気付いている。(知識・知識・技能)
	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通して中世を大観し、時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中世と古代を比較する作業学習などを通して、中世の特色をまとめる学習に意欲的に取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度)(知識・技能) ● 中世の主な人物や歴史的な事象を理解している。(知識・知識・技能) ● 中世の特色を自分の言葉で表現している。(思考・判断・表現)

第4章 近世の日本 (配当 21 時間)

1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 (配当 8 時間)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
9月・10月	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物、文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表、絵画などの資料を見て、この時代のイメージをもったり、前の時代との違いを予想した 	<ul style="list-style-type: none"> ● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。(主体的に学習に取り組む態度) ● 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を考えようとしている。(思考・判断・表現)

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	りする。	
<p>1 キリスト教世界とルネサンス (p.100~101) 中世ヨーロッパ ルネサンス 宗教改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● イスラム教の広がりがヨーロッパに大きな影響を与えたことを、ルネサンスや宗教改革を通して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● イスラム教の広がりが、十字軍・ルネサンス・宗教改革などにおよぼした影響のあらましを理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
<p>2 ヨーロッパと外の世界 (p.102~103) 大航海時代 ポルトガルとスペイン アメリカの植民地化 オランダの台頭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ヨーロッパ人が海外に進出した目的を、主にアジアとの関係から考える。 ● ヨーロッパの世界進出の影響について、アメリカ大陸とアフリカ大陸を中心に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「16世紀ごろの世界」から、スペイン・ポルトガルの世界進出や世界の一体化を読み取るなど、歴史地図を活用している。(知識・技能) ● ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸におよぼした影響について考察し、その過程や結果を説明している。(思考・判断・表現)
<p>3 ヨーロッパ人との出会い (p.104~105) 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と南蛮貿易 キリスト教の広まり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 南蛮人が日本にもたらしたものについて、図版から読み取る。 ● この時代に伝わった鉄砲とキリスト教が、日本の社会に広まった様子を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「南蛮人渡来図屏風」などに描かれたものを読み取り、南蛮貿易やキリスト教の広がりについて理解している。(知識・技能) ● 鉄砲とキリスト教の伝来、南蛮貿易が日本の社会におよぼした影響について、考察し、説明している。(思考・判断・表現)
<p>4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 (p.106~107) 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の統一事業 宣教師の追放</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 織田信長と豊臣秀吉の統一事業の過程を地図資料などから理解する。 ● 信長の経済政策、秀吉の宗教政策の影響について当時の法令から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましを理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能) ● 信長の経済政策が商業の発達にどのような影響を与えたかを考察し、説明している。(思考・判断・表現)
<p>5 兵農分離と朝鮮侵略 (p.108~109) 検地と刀狩 海外貿易と朝鮮侵略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したかを考える。 ● 朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、説明している。(思考・判断・表現) ● 朝鮮侵略の過程とその影響を資料から読み取っている。(知識・技能)
<p>6 桃山文化 (p.110~111) 豪華で壮大な文化 ヨーロッパ文化の影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考える。 ● ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子と、その影響を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現) ● ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)

2 節 江戸幕府の成立と鎖国 (配当 4 時間)			
	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
10月・11月	1 江戸幕府の成立と支配の仕組み (p.112~113) 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名や朝廷の統制	<ul style="list-style-type: none"> ● 260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたかについて関心を持つ。 ● 江戸時代の政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制について、大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 260 年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたのかに関心を持ち、意欲的に追究している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 「主な大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど、歴史地図を活用している。(知識・技能)
	2 さまざまな身分と暮らし (p.114~115) 武士と町人 村と百姓 厳しい身分による差別	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ● 百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことの意味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「身分別の人口の割合」「都市の農村の支配の仕組み」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を調べてまとめている。(知識・技能) ● 江戸時代に確立した身分制度の中での差別が、近代や現代にも残っていくことに関心を持ち、差別を許さないという態度を身につけている。(主体的に学習に取り組む態度)
	3 貿易の振興から鎖国へ (p.116~117) 朱印船貿易と日本町 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。 ● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とその影響を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸幕府が 17 世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、宗教の統制、外交と貿易の統制、大名の統制などから考察し、説明している。(思考・判断・表現) ● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、それが人々の生活に与えた影響を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	4 鎖国下の対外政策 (p.118~119) 中国とオランダ 朝鮮と琉球王国 アイヌ民族との交易	<ul style="list-style-type: none"> ● 長崎でのオランダ・中国との交易、朝鮮との交流、琉球やアイヌの人々との関係について理解する。 ● 海産物などを交易しながら独自の文化を築いていたアイヌの人々の生活に関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎖国下の日本と外国との対外関係について、白地図などに分かりやすくまとめている。(知識・技能) ● アイヌの人々の生活に対する関心を高め、現在に残る文化を大切にしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

3 節 産業の発達と幕府政治の動き (配当 9 時間) * (4) のウ・エ			
	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
11月	1 農業や諸産業の発達 (p.120~121) 農業の進歩	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、そのあらましを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸時代の産業の様子について関心を高め、身近な地域の郷土資料館などを利用して意欲的に調べている。(主体的に学習)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	諸産業の発達	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国各地に特産物の生産がみられることを、資料から理解する。 	<p>に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 諸産業が発達し、各地に特産物がみられるようになった理由を江戸の発展などと関連させて考察し、まとめている。(思考・判断・表現)
	2 交通路の整備と都市の繁栄 (p.122～123) 交通路の整備 三都の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の発達や三都をはじめとする都市が発達したことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、説明している。(思考・判断・表現) ● 産業、交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。(知識・知識・技能)
	3 幕府政治の安定と元禄文化 (p.124～125) 綱吉の政治と正徳の治 元禄の学問と文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 徳川綱吉の政治の特色を理解する。 ● 文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 徳川綱吉の政治がそれまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。(知識・知識・技能) ● 文学作品や「見返り美人図」などから、元禄文化の特色を読み取っている。(知識・技能)
11月	4 享保の改革と社会の変化 (p.126～127)	<ul style="list-style-type: none"> ● 徳川吉宗の政治改革の様子を図版や資料から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 徳川吉宗の政治改革について調べ、そのあらましを理解している。(知識・知識・技能)
12月	享保の改革 貨幣経済の広がり 百姓一揆と差別の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起きたことや、その中で差別が強化されたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」から社会の様子と変化を説明できるなど、グラフを活用している。(知識・技能)
	5 田沼の政治と寛政の改革 (p.128～129) 田沼の政治 寛政の改革 財政難に苦しむ諸藩	<ul style="list-style-type: none"> ● 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、目的・方法などについて共通点と相違点を考える。 ● ロシアの接近に対する幕府の外交政策を、間宮林蔵らの北方探検を通して理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、財政政策の違いなどについて考察し、説明している。(思考・判断・表現) ● 「北方探検」を基に、蝦夷や樺太の探検が行われたことを知り、幕府の対外関係のあり方を理解している。(知識・知識・技能)
	6 新しい学問と化政文化 (p.130～131) 国学と蘭学 化政文化 教育の広がり	<ul style="list-style-type: none"> ● 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考える。 ● 寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して、教育への関心が高まってきたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、新しい学問や文化が生まれた背景を考察し、説明している。(思考・判断・表現) ● 「藩校と寺子屋の広がり」を基に全国に教育施設がつくられていったことを読み取っている。(知識・技能)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	7 外国船の出現と天保の改革 (p.132~133) 異国船打払令と大塩の乱 天保の改革 雄藩の成長	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について資料から理解する。 ● 大塩の乱, 天保の改革について調べ, 幕府政治にどのような変化が見られたのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応についてまとめ, 幕府に新たな課題が生じたことを理解し, その知識を身につけている。(知識・知識・技能) ● 大塩平八郎が乱を起こした理由や天保の改革の内容を調べ, 幕府政治が行き詰まっていたことについて考察し, その過程や結果を説明している。(思考・判断・表現)
	[深めよう]歴史の中のイスラム文化 (p.136~137) イスラム教の拡大 イスラム教とヨーロッパ文化 ヨーロッパとアジアの接点	<ul style="list-style-type: none"> ● イスラム文化とヨーロッパの文化・アジアの文化との関係を理解する。 ● イスラム文化が世界の歴史の中でどのような役割を果たしたかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● イスラム文化とヨーロッパの文化, アジアの文化との関係を理解している。(知識・知識・技能) ● イスラム文化がどのように現代の文化と関係しているかを考察している。(思考・判断・表現)
	[深めよう]江戸のエコ社会 (p.138) 着物や生活用品のリサイクル リサイクル商品としての肥料	<ul style="list-style-type: none"> ● 近世の江戸の様子について調べ, 江戸時代の人々の生活について理解する。 ● 江戸で行われていたさまざまなリサイクルから, 現代の生活でも実践できる内容を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「古傘買い」, 「灰買い」, 「馬でし尿を集めに来た農民」から, どのようなリサイクルが行われたか読み取っている。(知識・技能) ● 江戸時代の人々の生活について理解し, 現在の生活に生かせる点を考察し, まとめている。(思考・判断・表現)
	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通してこの時代を大観し, 時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● この時代の特色をまとめる作業学習に取り組んだり, 「ディスカッション」を通して, 話し合いに積極的に参加したりしている。(主体的に学習に取り組む態度)(知識・技能) ● この時代の主な人物や歴史的事象を理解している。(知識・知識・技能) ● この時代の特色を自分の言葉で表現している。(思考・判断・表現)

第5章 開国と近代日本の歩み (配当 25 時間)

1 節 欧米の進出と日本の開国 (配当 9 時間)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
12月	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物, 文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● これから学習する時代について関心・意欲を高めている。(主体的に学習に取り組む態度) ● 資料の読み解きや比較から, この時代の

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1 月		<ul style="list-style-type: none"> ●これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。 	特色を考えようとしている。（思考・判断・表現）
	1 近代革命の時代 (p.144～147) ヨーロッパの動向 イギリス革命 アメリカ合衆国の独立 啓蒙思想	<ul style="list-style-type: none"> ●欧米諸国が，近代革命を通して近代国家を形成していった過程を理解する。 ●欧米諸国の近代社会の成立の様子に関心を持ち，資料を活用して調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●欧米諸国の近代化への成立の様子に興味を持ち，意欲的に追究している。（主体的に学習に取り組む態度） ●欧米諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し，その知識を身につけている。（知識・知識・技能）
	フランスの絶対王政 フランス革命		
	2 産業革命と19世紀のヨーロッパ (p.148～149) 産業革命 資本主義と社会主義 19世紀のイギリスとドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ●産業革命を経て，産業や社会の仕組みが大きく変化したことを理解する。 ●革命の時代を経て，近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●産業革命を経て，産業や社会の仕組みが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し，適切に表現している。（思考・判断・表現） ●革命の時代を経て近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解し，その知識を身につけている。（知識・知識・技能）
	3 ロシアとアメリカの発展 (p.150～151) ロシアの拡大 アメリカ合衆国の成長	<ul style="list-style-type: none"> ●ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で，さまざまな問題を抱えていたことを理解する。 ●ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカ合衆国成長の一方で，先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを多面的・多角的に考察し，適切に表現している。（思考・判断・表現） ●ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程を理解し，その知識を身につけている。（知識・知識・技能）
4 ヨーロッパのアジア侵略 (p.152～153) ヨーロッパとアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドの植民地化	<ul style="list-style-type: none"> ●イギリスを中心とするヨーロッパ諸国が，工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジア侵略を進めた過程を理解する。 ●ヨーロッパのアジア侵略とそれに対するアジア諸国の動きを多面的・多角的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパ諸国のアジア侵略について，その理由や背景を考察し，表現している。（思考・判断・表現） ●ヨーロッパのアジア侵略に対するアジア諸国の対応を，グラフや地図から読み取り，年表にまとめている。（知識・技能） 	
5 開国と不平等条約 (p.154～155) ペリーの来航	<ul style="list-style-type: none"> ●ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ，条約の内容を理解す 	<ul style="list-style-type: none"> ●ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ，適切に表現している。（思考・判断・表現） 	

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	不平等な通商条約	る。	● 条約の内容や不平等な点を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	6 尊王攘夷運動と開国の影響 (p.156～157) 尊王攘夷運動の高まり 開国の経済的影響 世直し一揆とええじゃないか	● 対外政策を転換して開国したことや、開国したことによる国内への影響について、資料を使って考える。	● 尊王攘夷運動の高まりや開国の影響を調べ、開国によって日本が資本主義社会へ組み込まれていったことを考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現) ● 開国の経済的影響を人々の生活との関わりから理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	7 江戸幕府の滅亡 (p.158～159) 倒幕への動き 大政奉還と王政復古	● 倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きなどを調べ、江戸幕府の滅亡までの経緯をまとめる。 ● 開国による政治的・社会的な影響に触れ、それが倒幕の動きを生み出したことに気付く。	● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・社会面から考察し、公正に判断し表現している。(思考・判断・表現) ● 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。(知識・技能)

2 節 明治維新 (配当 8 時間)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1 月・ 2 月	1 新政府の成立 (p.160～161) 明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止	● 新政府の方針や諸改革の内容を調べ、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ● 身分制度の廃止の意義と問題点について考える。	● 明治維新の経緯に対する関心を高め、意欲的に追究している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 新政府ができ、中央集権国家の体制が確立していったことを理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	2 明治維新の三大改革 (p.162～163) 三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ● 諸改革が人々へもたらした影響について考える。	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革を、江戸時代の制度と比較しながら考察し、公正に判断し表現している。(思考・判断・表現) ● 学制・兵制・税制の改革の内容を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	3 富国強兵と文明開化 (p.164～165) 富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想	● 新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ● 文明開化など欧米文化が流入したことによって、人々の生活が大きく変化したことに気付く。	● 近代的な産業発展のため政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能) ● 文明開化など欧米文化の流入によって、人々の生活が大きく変化したことを江戸時代と比較しながらまとめている。(知

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
			識・技能)
	4 近代的な国際関係 (p.166～167) ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について考える。 ● 近代的な国際関係の下で進められた、明治初期の外交政策を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国の視点から考察し、公正に判断し表現している。(思考・判断・表現) ● 新政府が行った岩倉使節団派遣や、清や朝鮮への外交政策を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	5 国境と領土の確定 (p.168～169) 国境と領土の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々	<ul style="list-style-type: none"> ● 領土の確定について、近代的な国際関係の下で新政府が行った外交政策を理解する。 ● 北海道の開拓と産業の関係、沖縄県成立の過程での中国の関係について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国境と領土の確定について、地図を用いた確にまとめている。(知識・技能) ● 国境と領土の確定について、北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	6 自由民権運動の高まり (p.170～171) 自由民権運動と士族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ● 自由民権運動の高まりを政党の結成や憲法草案などの資料から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について、民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察している。(思考・判断・表現) ● 自由民権運動のおこりや全国的な広まりの過程を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	7 立憲制国家の成立 (p.172～173) 憲法の準備 立憲制国家の成立 帝国議会の開設	<ul style="list-style-type: none"> ● 政府が主導した憲法制定の過程を調べ、憲法の特徴を理解する。 ● 憲法に基づいて議会政治が始まり、立憲制国家が成立したことを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 憲法制定過程、選挙制度について、資料から読み取ったりまとめたりしている。(知識・技能) ● アジアで最初の立憲制国家が成立したことに気付き、憲法の特徴や近代国家の基礎が整えられたことを理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)

3節 日清・日露戦争と近代産業 (配当8時間)

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
2月・3月	1 欧米列強の侵略と条約改正 (p.174～175) 列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢	<ul style="list-style-type: none"> ● 日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気付き、東アジアの情勢を理解する。 ● 条約改正に至るまでの過程を調べ、欧米諸国と対等な外交関係を樹立するための人々の努力に関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 条約改正に至るまでの過程について、人々の努力があったことや国際情勢と関連させながら関心を持って意欲的に追究している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気付き、東アジアの情勢を理解し、その知識を身につけ

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
			ている。(知識・知識・技能)
	2 日清戦争 (p.176～177) 日清戦争 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 日清戦争の原因と結果、その後の国内外の情勢を理解する。 ● 下関条約の内容に関心を持ち、戦後のアジアの国際関係や国内情勢について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日清戦争から三国干渉までの経過を年表にまとめている。(知識・技能) ● 日清戦争の原因と結果、その後の国内外の情勢を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	3 日露戦争 (p.178～179) 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本	<ul style="list-style-type: none"> ● ロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し、日露戦争の原因と結果、その影響について理解する。 ● 日露戦争について、戦争の規模や国内外の反応をさまざまな角度から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日露戦争について、国際関係での日本の立場の面と、国内の反応の面から考察し、表現している。(思考・判断・表現) ● 日本を取り巻く、当時の国際関係について、資料から読み取った結果をまとめている。(知識・技能)
	4 韓国と中国 (p.180～181) 韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本による韓国の植民地化の進展のあらましを理解し、その影響について考える。 ● 中華民国が建国されるまでの過程を、辛亥革命の発生や、列強の支配と中国国内の民族的自覚の高まりから考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 韓国の植民地化の動きを、抵抗運動、土地問題、教育の面から多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ● 韓国の植民地化の進展や中国国内の様子を理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	5 産業革命の進展 (p.182～183) 産業の発展 交通の発達 資本家と労働者 地主と小作人	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業革命によって、都市や農山漁村の生活が大きく変化したことを理解する。 ● 資本主義の発展とともに生活の向上が見られた一方で、労働問題や社会問題が発生したことに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業革命で人々の生活が変化したことに関心を持つとともに、労働問題や社会問題が発生している点にも気付き、意欲的に追究している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 鉄道の広がりや産業の発展を、地図やグラフを使って調べ、まとめている。(知識・技能)
	6 近代文化の形成 (p.184～185) 日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及	<ul style="list-style-type: none"> ● 近代文化の形成を、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことや教育の普及から理解する。 ● 近代文化は、伝統的な文化の上に、欧米文化を受容して形成されたものであることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 明治時代の文化について関心を持ち、その内容や人々の業績を意欲的に追究している。(主体的に学習に取り組む態度) ● 近代文化が形成されたことを、学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解し、その知識を身につけている。(知識・知識・技能)
	[深めよう]「解放令」か	● 「解放令」の後、被差別部	● なぜ生活が厳しくなったのか、その背景

	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	<p>ら水平社へ (p.190～191) 「解放令」とその後 部落改善運動の始まり 島崎藤村の「破戒」</p>	<p>落の生活がむしろ厳しくな っていることを理解する。 ●生活の貧困化を克服するた めに、「部落改善運動」が展 開されるが、これに対する 反発が、後の水平社創立に つながることを理解する。</p>	<p>について考え、意欲的に追求している。 (主体的に学習に取り組む態度) ●「部落改善運動」の内容について理解し ている。(知識・知識・技能) ●「部落改善運動」の功罪について意欲的 に追求している。(主体的に学習に取り組 む態度)</p>
	<p>[深めよう]足尾銅山と田 中正造 (p.192) 足尾銅山の鉱毒被害 田中正造と鉱毒問題 解決への取り組み</p>	<p>●工業の発達に伴って公害問 題が発生したことに気付 く。 ●鉱毒問題が社会問題となっ たことや問題解決の取り組 みについて理解する。</p>	<p>●足尾銅山鉱毒事件が社会問題となっ たことに関心を持ち、内容や影響について意 欲的に追究している。(主体的に学習に取り組 む態度) ●問題解決の取り組みについて、田中正造 の行動と政府の動きを調べ、まとめている。 (知識・技能)</p>
	<p>章のまとめ</p>	<p>●言語活動を通して主に明治 時代を大観し、時代の特色 を捉える。</p>	<p>●主に明治時代の特色をまとめる学習に意 欲的に取り組んでいる。(主体的に学習に 取り組む態度) ●主に明治時代の人物や歴史的事象を理解 している。(知識・知識・技能) ●主に明治時代の特色を自分の言葉で表現 している。(思考・判断・表現)</p>